森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　　平成２６年１１月１日発行　通巻第２２４号

森のなかま

２０１４年１１月号
ＮＯ．７９（継続２２４号）

ＮＰＯ法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　　発行人　久保　重明
〒243－0014　厚木市旭町１丁目８－１４・グリーン会館　ＴＥＬ046－280－4101・ＦＡＸ046－280－4102

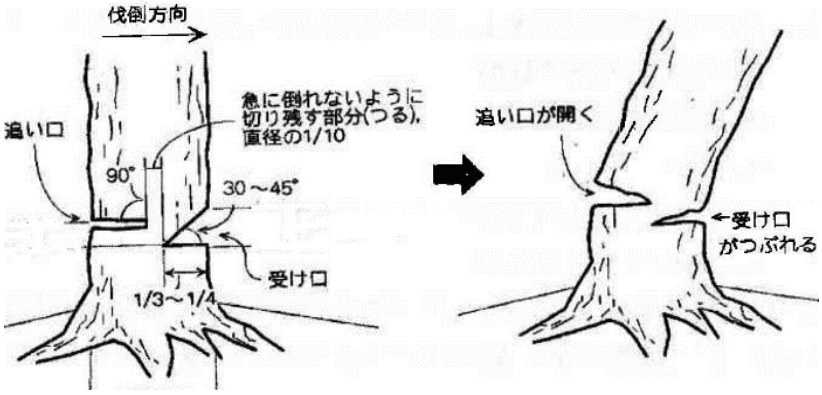
森林部会主催　平成26年度　**「間伐研修会」**
9月28日（日）10:00～15:00　（10月5日（日）は雨天中止）、
愛甲郡清川村煤ケ谷字堤川（分収林）

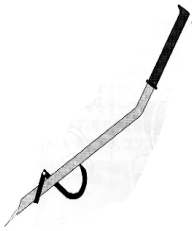
＜　森林部会　西出　健一　12期＞

森林整備の中でも、間伐は危険度が高く、一番技量と経験が問われる作業です。森林づくりボランティアなどの参加者に対して、「安全な間伐」を指導するためには、まずインストラクター自身が経験を積むと共に、作業の基本を熟知することが肝要です。

森林部会では、「間伐作業マニュアル」を作成すると共に、できるだけ多くのインストラクターに研修をしていただこうと、年2～3回の研修会を開催しています。この研修会の目的は、前述のほか、次の点があります。

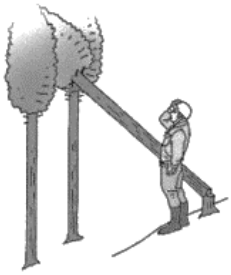
①　「伐り手」と「インストラクター」の役割を交代で演じることにより、実践的な研修を行う
②　新旧インストラクターが共同作業をする中で、互いの知識や技術の交流を図る
③　新しい器材（フェリング・レバー、スリング、滑車等）の効果的な使い方を習得する




フェリング・レバー

スリング

滑車



今回は、9月末、10月初めと、2回設定しましたが、10月の回は残念ながら台風の影響で中止となりました。9月の回は、総勢38名（研修31名、講師5名、運営幹事2名）が参加して、実践的な研修を行いました。午前1．5時間、午後2時間の作業時間で、指導する講師の下、各班6名程度の構成で原則一人1本の間伐を行う中で、作業中に気付いた点を議論しながら、また、意図的に掛り木を発生させてフェリング・レバーで処理を行う等、安全な間伐の仕方、器材の使い方の習得を行いました。

この研修会は、通常行われる様な一方通行の講義形式ではなく、参加者全員が実際に作業を行って、複数の観察者の評価を受けながら進める点が最大の特長ですが、新旧インストラクターの交流も図れる事から、非常に意義のある研修会と位置付けられます。

間伐研修会の様子

伐倒方向の検討

受け口の描画

受け口の作製

作業内容の検討

切り口の評価

切り口の一例

講師：佐藤武晴　5期、滝澤洋子　5期、戸谷和男　6期、福島孝弘　9期、松永廣　11期　の各氏
運営幹事：大澤　斗志郎　10期、西出　健一　12期

会関連の秋のイベント案内

森林探訪　【共催】NPO法人かながわ森林インストラクターの会

【森林探訪申込先】往復ハガキにイベント名、参加者全員の氏名・住所・電話番号・年齢を記入し、〒245-0016 横浜市泉区和泉町6206-1 グレーシアいずみ野105号 松永 廣まで（☎050-8880-3465）
かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

相模湖 嵐山 ～晩秋の相模湖を楽しむ～

2014年 11/29（土）

9時～15時30分
【講師】NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
【集合】JR相模湖駅：8時30分

◆相模湖駅～相模湖大橋～嵐山～ねん坂～渡し船から相模湖公園

会員 500円　一般 1,000円　別途交通費負担

80人（先着順）
受付：11/1～11/22

●問合せ先：
公益財団法人かながわトラストみどり財団みどり森林課
TEL：045-412-2255 webサイト：www.ktm.or.jp
●申込み先：NPO法人かながわ森林インストラクタ-の会
〒254-0014 厚木市旭町1-8-14 グリーン会館内
E-mail：k-inst0981@friend.ocn.ne.jp
参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、往復はがき、又はメールでお申し込みください。
締切り後、抽選結果ならびに詳細をお送りいたします。

かながわ森林インストラクターの会は
『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で５番目／ＮＰＯ法人で初めて委嘱されています。

第78回森林探訪 “箱根湯坂路で秋を満喫”

9月27日(土)8:30～15:00　晴れ、 参加者53名

＜自然観察部会 友谷 渉 1期 ＞
（写真 小林(富) 10期）

■ コース

箱根湯坂路:芦之湯(標高 880m)～湯坂路～鷹巣山(標高 834m)～浅間山～宮ノ下(標高 420m)

本年度2度目となる、森林探訪は、晴天に恵まれ爽やかな探訪日和となりました。

● 9:35 芦之湯の、東光庵熊野権現旧跡の境内に全員集合～オリエンテーション開始

① 松永部会長のご挨拶と青木看護師をご紹介・インストラクター自己紹介
先導:小林(冨)(10期)・1班鳥飼(11期)・2班松石(13期)サブ:野田(8期)
・3班大塚(11期)・4班古舘(13期)・5班長尾(13期)・6班内野(9期)
・7班真部(13期)・8班海野(10期)　　・チーフリーダー友谷(1期)

オリエンテーションン

② 箱根湯坂路の魅力、水源林を大事に残す事。車道横断・急坂足元の注意等のお願い。

③ 松石さんの指導により、全員準備体操です。～準備の整い次第出発・・・

朝の準備体操

● 9:55 東光庵を後に、”箱根八里は馬でも越すが”どこかからか箱根馬子唄(駒引き歌・道中歌)が聞こえて来そうな箱根の山を巡ります。最後尾は、松永部会長・青木看護師の体制。トランシーバー4台で、互いの位置を都度確認。沿道に紫に色付いたミツバアケビの実を発見。ホトトギスの花を見つけました。全員無事に、国道を横断出来ました。

探訪開始

見頃なススキ

● 11:00 約15分遅れで、湯坂路入口に到着。重機を入れて森林整備中の現場近くや、防火帯を進み、道の両側に今が見頃のススキの穂が美しいです。踏査時の、ススキに寄生するナンバンギセルが見られないのは残念です。鷹巣山には、数組のハイカーが休憩中。

● 12:10 ハイキング道入口に到着。林道路上で各班昼食休憩をとりました。

午後の準備体操

● 12:40 準備体操の後、後半のコースに出発。～浅間山(標高802m)を過ぎ、やや長い下りになります。花や葉の形や受粉の仕掛けが特徴のキバナアキギリを見、ツチアケビを2か所で見ました。ギンリョウソウの姿も見つけました。

● 15:00 先頭3班から順次宮ノ下の公園でまとめに入り各班駅まで案内して解散です。最終組8班まで25分の間隔で解散となりました。青木看護師と無事故を確認。今回の森林探訪は、お客様の中には、14期生、13期生、7期生のインストラクターの参加もありました。

浅間山からの下り

宮ノ下駅に到着

活　動　短　信

今回の掲載は
8.17～9.20(一部)です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。
予めご了承下さい。

平成26年10月号掲載の活動短信
◆川崎市立末長長学校 「森林講話」の掲載文に一部誤りがありましたので訂正願います。(加藤久雄 12 期)
東大震災の陸軍本所被服廠跡の部分の
誤) 東大震災 ⇒ 正) 関東大震災です。

◆ 鶴岡八幡宮槐の会　林間学校(森林癒し等)

日　8月17日(日)8:30～15:00、曇り時々晴れ
場　やどりき水源林フィールド
参　235名 (大人110名、子供90名、
　スタッフ　35名(瀧森様、渡部様、谷口様、佐伯様、
　　高橋様、柳田様、三嶋様、大津様ほか))
イ　L草野⑧、菊地①、宮本④、高崎④、若林⑦、
　阿部⑧、山下⑪、福島⑪、平田⑫、江頭⑬

心配されたお天気も蒸し暑い曇り空ながら、時折晴れ間も見せる活動日和に恵まれ、第1グループ(3班編成)と第2グループ(3班編成)とに分かれて、午前・午後とに交互に「葉っぱでスタンプ」と「水棲生物観察」を行った。

(葉っぱでスタンプ)は、林間学校の先生によるプログラムの説明後、インストラクターの案内で、集会棟近くの林道で葉っぱを採集してから広場のテントに戻り、それぞれの感性あふれるデザインによる葉脈を、カラースタンプでトートバックへ写し、見事な作品を完成させていた。

特に参加者親子の手形、水玉模様、色違いの葉っぱなど大人では気がつかない豊かな感性の目立った作品が目立った。

(水棲生物観察)は、インストラクターの案内で、各班に分かれての注意事項等の説明の後、やどりき沢での採集を開始。蒸し暑いお天気のため、冷たい沢での採集には大喜びで、カジカ(魚の)、沢ガニ、川虫などに子供たちの歓声が森の中に響き渡った。

採集後、広場に戻り、チエック表を使ってインストラクターが説明。沢ガニなどの生態の説明に瞳を輝かせて、大きく頷いたり、質問する子供もいて楽しい観察会になった。

最後に、インストラクターによる「ロケットラワン」を使った空飛ぶタネの実験をしたが、時間の関係から遊びに興じていただくことができなかったのが惜しまれた。

今年も震災被災地の福島からの児童(13名)も各班に分かれて参加、十分満足頂き、無事に活動を終えることができました。

(記　高碕　好計　4期)

◆ 県民参加の森林づくり　下刈り

日　8月20日(水)8:30～15:00、 晴れ
場　箱根町仙石原(箱根イタリ水源林)
参　53名
財　鳥海様、豊丸様　看　小林様
スタッフ　箱根水道パートナーズ(株)　東坊様他１名
　小田原森林組合　佐久間様他１名
　箱根高原ホテル　星野様
イ　L柴⑪、佐藤①、斎藤⑥、杉崎⑩、戸谷⑥、武者⑦、
　山崎⑦、小沢⑨、橋本⑩、中村⑪、東昭一⑫、
　研　古舘⑬

ここ数日間、雨か曇りだったという箱根のこの日は、日差しの強い夏の一日であった。参加予定者71名の所53名と減った一般参加者と関係者は5台のバスに分乗して片道約１時間かけて作業場がある箱根イタリ水源林に向かった。到着後、財団とリーダーからの全体説明の後、5班に分かれて斜面の急な現場で下刈作業を行った。

この現場には、平成24年にケヤキ、ヤマザクラ、モミジ、コナラなどが植栽されたというが、それらよりも高くなったカヤなどの雑草、雑木、ウドなどが生えており、注意しながら鎌を振るった。一番悩まされたのはハチである。2日前の下見の時には殆どいなかったというハチが、暑くなったせいか、活発に活動していた。ハチに刺された人が5人も出て看護師さんのお世話になったが、いずれも軽微なものだった。

今回特筆すべきは、昼食休憩後、バスで箱根高原ホテルに移動して温泉入浴をさせて頂いたことである。汗まみれになった体を熱い源泉かけ流しの湯で洗い落してさっぱりとした気分に戻った。全員怪我もなく、冷房の効いたバスに揺られて小田原駅に到着した。午前中の暑いボランティア活動と午後の癒しの温泉入浴とが一体となったまさに至福となった一日であった。

(記　古舘 信生　13期)

◆ 神奈川県水道記念館
水源の森林観察会

日 8月21日(木)9:00～16:00、晴れ
場 やどりき水源林
参 40名(大人20名、子供20名)
イ L高崎④、渡辺③、白畑⑦、山崎⑦

“夏です。暑いです。猛暑です。水を大切に使いましょう”と皆さんに言って活動をスタートしました。

午前） 4班に分かれて自然観察会、Bコース、神奈川美林の50選の森と砂防堰の役目、鳥や動物たちの住み家、水分をたっぷり含んだみどりのコケ、等を詳解。

林道コースでは、丹沢山系の生い立ち、「成長の森」事業の取り組みについて説明しました。

午後） 水棲生物の観察、沢ガニの生命誕生の瞬間を観察することが出来て、親子で感動しました。山、川、海の大切さについても説明しました。

（記 山崎 實 7期）

◆ 青春の旅“ 森林ボランテイア ”

日 8月23日(土)、 雨のち曇り
場 県立21世紀の森
参 28名(こども14名、大人14名)
イ L阿部⑧、伊藤⑦、山崎⑦

21世紀の森はあいにくの雨、集会室でインストラクターの紹介、リーダーから今日の活動について“竹の話”と“竹林間伐”の注意事項等の話しの後、外に出て空を見上げると、依然として雨竹林の間伐を実施するかどうか代表者と協議の結果、午後のクラフト竹細工の材料を調達の必要もあり、雨中での作業の希望者を募ったところ、全員が体験を希望したので現場に向う。

雨で手が滑ったり、足元がぐらついたりケガをしない様に細心注意を払い作業に取り組む。クラフトに必要なタケを確保したところで引き上げる。全員がずぶぬれになった。

午後の竹を使った工作は、慣れないノコギリ、小刀を使って、ケン玉、菜箸・竹とんぼ・貯金箱・一輪ざし・竹ブンブン・など思いおもいに楽しそうに取り組んでいた。事務局、父兄の方々も、しっかりと目を配り指導に当たられており、一人のケガもなく終了した。

（記 伊藤 恭造 7期）

◆ 日揮株式会社
水源探検ハイキング

日 8月23日(土) 9:30～14:00、 雨のち曇り
場 やどりき水源林
参 13名(大人12名 子ども1名)＋担当者1名
イ L滝澤⑤、白畑⑦

中津川の上流に向かってハイキングをし、水源の湧水まで遡るという企画でした。前日に日揮（株）の担当者による事前講習で、森林の働きや水源林の話などが説明されていましたので、当日は実際に歩いて、見て、感じて頂くことに重点を置きました。やどりき水源林の広場から出発する時に雨がぽつぽつ降り出しました。雨具持参を確認して出発。水源林内の林道を一部脇道にそれながら、水が斜面から湧き出ている所などを見て歩きました。林道終点で、雨がそれほどでない事と参加者の様子も問題無い事を確認して、Aコースに入りました。当時横浜では雷雨だったようで、今回参加できなかった日揮の担当の坂井様やインストラクターの会の総務担当にはご心配をかけてしまったようですが、雨で元気になったヤマビルに騒ぎながらもAコースを踏破。

昼食後には雨も上がり、当日活動していた定着型ボランティアの一団体から分けてもらったスイカを食べ、滝郷の滝で水しぶきを浴びて、楽しんで頂けました。

雨の中でしたが無事終了できまして、参加された皆様にも感謝いたします。

（記 滝澤 洋子 5期）

◆ 茅ヶ崎勤労市民会館
学んで遊ぼう！こどもフェスタ

日 8月24日(日)
場 茅ヶ崎勤労市民会館
参 一般 100名(およその来店人数)
イ L松村⑧、井出①、米本②、落合③、武者⑦、内野⑨、中元⑩、福島⑪、真部⑬、赤崎⑫

茅ヶ崎勤労市民会館にて、子供たちの夏休みも終わりに近づいたこの日、自由研究の一助になるようにと「こどもフェスタ」が開催された。フェスタはちびっこ歓迎と銘打ってあり、かわいいお客様が100名以上いらしてくれた。

会場は数階に分かれており私たちは3階の来客用休憩

室のある広い部屋で森の素材を生かしたクラフトづくりの店を開店。すぐ完成するようにある程度加工した材料を使っているとはいえ、子供も大人も自分だけの作品にしようと真剣に制作に取り組む姿が見られた。

結局、用意したロケットラワン、でんでん太鼓、オブジェ、ブンブンこま、書けない鉛筆、ストラップはほぼ完売。午前中だけで売り切れるクラフトもあり、次から次への来客対応でてんてこ舞いだったが、大変充実し、楽しい一日となった。懸念していたケガや事故もなかった。来期もこのイベントがあるならぜひ出店したいと思う程であった。

（記　赤崎　さほり　12期）

◆ 横浜トヨペット労働組合
親子自然教室（森林の自然観察と水生生物の観察）

日　8月26日（火）9:40～12:25、曇り時々小雨

場　やどりき水源林（トヨペットパートナー林から巨木林までのコース及び川での水生生物の採集と観察）

参　横浜トヨペット労働組合8家族34名（スタッフ3名含む）

イ　L宮本④、村井⑨、杉崎⑩、谷川⑪

キビタキの囀りを聴きながら、先ず、河川敷の広場から横浜トヨペットのパートナー林、そして巨木林に至るコースで自然観察をしました。親子連れということもあって、それぞれが一緒になって見つけられる植物や特徴のある樹木を探しながら観察を進めましたが、子どもたちは、こちらで用意したビンゴシートを頼りに、積極的に活動することができました。

ところが、スタート当初、思いがけず、宮本リーダーの腕に吸い付いたヤマビルの観察をすることになりました。参加者は、一様に驚きを隠せませんでしたが、このフィールドに棲む生き物の実態を生で感じるとともに、適切な処置法について学ぶことができました。ヤマビルは、その後も度々姿を見せましたが、効あってか大きな混乱には至りませんでした。

ビンゴゲームは、木々を揺らす風の音だけは聴き取ることはできませんでしたが、それでも、全員がオールビンゴを目指して積極的に取り組むことができました。また、パパやママも子どもをせかすのではなく、一緒に話を聞きながら自然探しをしていたのがとても印象的でした。

後半は、心地よい水の中に入って水生生物を採集し、観察をすることになりました。水の流れが安定していて石にコケが付き始めたせいか、たくさんの水生生物を採集することができました。カゲロウやカワゲラ、トビケラをはじめ、ガガンボの幼虫、サワガニ、カジカなども元気な顔を見せてくれたのです。ここでも、子どもと一緒になって網の中をのぞき込む、パパさんやママさんの姿をあちこちで見ることができました。

水生生物の同定が終わったところで、まとめとして、水源林と水生生物の関係、望ましい水質環境の水を飲料水としている私たちの生活についての話がありました。

観察会終了後、管理棟で反省会を持ちました。ヒヤリハットにつながる問題点はありませんでしたが、活動の見直しと、今回の企画を更に生かすための工夫や留意点について話し合いを持ちました。次回の企画に生かしていきたいと考えております。

（記　谷川　克　11期 ）

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html

◆ 横浜市立菅田小学校
（登山＝箱根林間学校）

日　8月26日（火）10:00～15:30、曇り

場　大涌谷⇒神山⇒駒ヶ岳⇒ロープウェー⇒箱根園

参　児童45名（男子29名、女子16名）
　教師6名（男性2名、女性4名）

イ　L武者⑦、高崎④、白畑⑦、永松⑫、長尾⑬

雨上がりの曇り空で、実施判断に迷う天候であったが延期等、諸々の事情も重なり、実施を決断された。従って、服装等、厳しい指導もされ、安全に対する配慮も怠らなかった。足元の悪さにも配慮され、下山は、駒ヶ岳経由、ロープウェー利用に切り替えた。

悪条件故に、当初、児童の行動に不安も感じたが、先生方の配慮・児童たちの努力も幸いし、特記すべきヒヤリハットもなく、無事終えることができた。児童も、大自然の中で、山登りの大変さ・楽しさ等、貴重な体験が出来たのではなかろうか。

事前の保護者説明・下見・延期日対応等々、課題多きなか、現場の先生方の、熱心な取り組み・ご苦労が、目に見える活動だった。登山や・森林活動も、そういう先生方のおかげで、実現できている側面もあるのではないかと、再認識した。

私たちインストラクターも、武者リーダーを中心に、学校の要望を、前向きに受け止め、よりよい体験活動が出来るよう頑張った。今後も協力していきたいものである。

（記　高崎　好計　4期）

◆ 横浜市立すみれが丘小学校

「水生生物の採集と観察」

日 9月4日（木）10:30～12:40、 曇り

場 やどりき水源の森　寄沢

参 小学5年生2クラス68名

学校長、担任教師2名　他引率教師5名、カメラマン1名

イ Ｌ宮本④、愛木⑦、伊藤⑦、村井⑨、谷川⑪

すみれが丘小学校では、今までに「丸太の森上総川の上流」で、水生生物の学習を進めてきた経緯があるが、今回、宮本リーダーの適切な助言もあって、安心して活動できる川原の広さや水量の適否、観察に適した器具の有無、トイレ設備などの諸条件が整っているこの寄沢のフィールドを選定することになったと聞いている。ところで、子どもたちは、メダカを飼育しながら、ミジンコなどのエサとなる微生物の存在を理科で学習してきているが、魚と水生生物の関係を川というフィールドを通して学びとるというのは初めてのことである。最初は、網の受け方、小石のどけ方などぎこちなさが見られたものの、そこは自然に敏感な子どもたちである。互いに協力しながら網を受けたり、小石を動かす役割を分担したりしながら、上手に生き物を採集できるようになっていった。30分ほどで、カジカやヘビトンボ、ガガンボなどを含め、かなりの種類の水生生物を採集することができた。

後半は、事前に用意したブラナリアやサワガニなどの生物も加えて種を同定する活動に入った。スポイドやピンセットを使って類別したものを、更にルーペや簡易顕微鏡で観察し、チェックリスト用紙で確認する学習である。ここでは、最初は幼虫の動きにたじろいでいた子も、終わりの方では、昆虫を掌にのせて観察できるまでになっていた。

担任からは、子どもたちの生き物に対する順応性は予想外であったし、この活動で友だちから羨望の眼差しで再認識された子もいたと伺っている。

水生生物の同定が終わったところで、宮本リーダーから水源林と水生生物の関係、望ましい水質環境の水を飲料水としている横浜市民と私たちの生活についての話があった。その後、子どもたちは昼食を済ませ、バスで宿泊地の愛川ふれあいの村に向かった。

観察会終了後、反省会を持った。児童一人がヤマビルの軽い被害にあったものの川原での怪我やヒヤリハットにつながる事故はなかったという振り返りと、小学生を対象にした今回の企画を、更に生かすための工夫や留意点について話し合いを持った。次回への活動へとつないでいきたいと考える。

（記　谷川　克　11期 ）

◆ 自治労神奈川本部

「自治労水週間『森の下に何が見えますか』 下草刈り

日 9月5日（金）10:10～12:00、曇り（霧）時々晴れ

場 秦野市寺山字鷹採（ヤビツの森）

参 42名（法政大学生4人含み）

財 豊丸様　看 小林様

イ Ｌ小沢⑨、有坂⑧、大塚⑪、西出⑫、松本⑪

自治労恒例の『森の下に何が見えますか』の今年はPart18です。例年より一ヶ月遅れの活動です。涼しい気候かと思いきや、夏日がぶり返し熱中症が心配でした。幸いヤビツは標高もあり、霧模様で下界に比べ温度も低く草刈には幸運な天気でした。作業終了後に下界に戻ったら暑い・・暑いこと。

作業前に、自治労幹事、トラストみどり財団からのご挨拶があり、インストラクターリーダーより大鎌を使う下草刈りの注意事項、準備体操をして4班に分かれ作業場に向かいました。草刈りはカヤ（草の）が多く、例年よりも1ヶ月遅いので腰も強い状態でした。

多くの人が現役の仕事をしているので作業が速い・・、それでも作業時間が短いので一部笹が残ってしまいました。蜂もいましたが回避でき怪我も熱中症もなく作業を終了し広場まで下山し、念のためヒル点検をしました。ガムテープや虫除け（塩や薬）等の万全対策で被害ゼロでした。実はそうなると予測はしていました。該当作業エリアは鹿柵補修を頻繁に行っていて鹿は4年間入れていない。インストラクターでヒルがついた人がいたがこれは柵外で寄り道をした為に取りつかれた模様の番外編。

無事作業も終わり自治労の皆さんは汗を流しに温泉場に向かいました。

（記　松本 保　11期）

◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第3回

日 9月6日(土)9:00～15:00

場 麻生鳥のさえずり公園・麻生区市民健康の森

参 42名(里山ボランティア育成講座参加者)

ｽﾀｯﾌ 川崎市公園緑地協会　野牛様、北澤様、他2名

イ L山崎⑫、門澤⑫、源島⑬、溝田⑬、西出⑫

午前中、明治大学農学部、倉本宣教授が、「里山の成り立ちと市民による再生」と題して、主に、東京都桜ヶ丘公園雑木林ボランティアの活動を通じて、里山の保全活動の現状・課題等に関する講演があった。

午後は、受講者を4班に分けて、インストラクター4名が、間伐2班、下刈り2班を担当して、各1時間、計2時間で受講者全員が間伐・下刈り両方の実習を行った。私は間伐を担当したが、初体験の方が約半数であったため、まず安全かつ正確に間伐を行うためのポイントを説明した。対象木(直径10～15cmの広葉樹)は選木済で、作業を進めながら、伐倒方向の決定、ロープの掛け方、受け口・追い口の入れ方等を説明して、各班1～2本の間伐を実施した。

受講者は、将来、川崎市内の各地区で、森林整備のボランティアの指導をする方たちであり、熱心に話を聞いて作業をして頂き、その熱意の程が伝わって来た。

(記　西出　健一　12期)

◆ 三菱工業株式会社　やどりき水源林での森林活動
間伐／癒し／水生生物観察／草木染め

日 9月6日(土)10時～15時、曇り

場 やどりき水源林

参 三菱重工業(株)
総務・環境課　浮ケ谷課長、総務　山崎様、
他社員家族　63名

県 武田様

イ 間伐：L伊藤⑦、森林癒し：L高崎④、
水生生物観察：L宮本④、草木染め：L白畑⑦
若林⑦、小沢⑨、村井⑨、福島⑪

＜間伐＞　L伊藤⑦、宮本④、白畑⑦、村井⑨

旧JAエリアは伐倒しつくしてしまい足場の安定した場所での選木に苦労したが、3本を4名で担当。参加者は子供も含む(5名)18名、樹齢40年のヒノキ、掛り木に苦労した班、しなかった班とあったが、玉切り、枝払い、昼からのお楽しみの“スイカ割り”のたたき棒確保で予定時間は目いっぱいの作業でした。間伐の現場に子供も参加する事はより危険性がまし、子供の面倒をみる親は戦力外になってしまいインストラクターの負担や安全面を考えると今後は計画の時点で子供の参加について年齢制限など申し入れる必要があることを痛感しました。

(記　村井　正孝　9期)

＜森林癒し＞L高崎④、若林⑦、小沢⑨、福島⑪

癒し体験場所を各班が3ヶ所設定し 10 分～15 分の体験をする。槐の森では山道にシートを敷き仰向けに横たわり空を見上げる。木漏れ日や梢のささやき、野鳥の鳴き声など癒し体験入門(五感をフル回転)を説明。

今回の活動で一番人気の森林癒しは 45 名の参加があり、私の班は大人5名、子供6名のメンバーでした。

山中に設定したハンモックに乗る体験。山を見ながら川のせせらぎを聞き癒される。皆さん、初心者で日常では体験できない事をされ、満足して頂いたようでした。

(記　小沢　章男　9期)

＜水生生物観察＞L宮本④、高崎④、伊藤⑦、
村井⑨、福島⑪、

・参加者全員に採集網、家族に1セットのリーフレット、採集記録表、(イラスト入り)を配布し、各班決めたインストラクターが採集現場に移動した。

・寄沢で観られる水生生物と棲みかを簡単に説明した後、網の使用方法、網受けの場所等を説明し、それぞれ採取した。

・採集結果と観察：採集した生物(落葉、微砂混入)はバットに移し、更に生物を観察ケースにピックアップして、肉眼やルーペなどを用いて観察した。

・採集生物に就いて、インストラクターが説明しながら採集記録表の生物に○付けをした。カジカ、カジカガエル(幼蛙)、トビゲラ、カワゲラ、カゲロウ、ヘビトンボ、トンボ幼虫(ヤゴ)など主要な生物は採集できた。

最も感動的だったのは、子供がサワガニの親を採集し、バットに移した瞬間に稚ガニを放子した。めったに見られないシーンに遭遇できた。

・インストラクターが予め用意したレッドホルダーにしたがって、寄沢の水と上水道、水生生物と水環境指標、プラナリアの再生、サワガニの放子、カジカガエルの産卵等について説明した後、採集生物をリリースして終了した。

(記　宮本　聰　4期)

＜草木染め＞　L白畑⑦、若林⑦、小沢⑨、

◆ 横浜市立善部小学校

県立21世紀の森　天然の森コース自然観察

日 9月10日(水)10:00～13:50、 曇り時々晴れ

場 県立21世紀の森

参 小学5年生2クラス78名

教師4名、ボランティア6名、カメラマン１名

イ L島岡③、井出①、渡辺③、伊藤⑦、小野⑦、内野⑨、村井⑨、谷川⑪

台風の影響で心配された天候も落ち着き、予定通りの時間とコースで自然観察を行うことになった。先ず、今回の観察の目的や安全面での注意を島岡リーダーから聞き取り、グループ活動による観察を始めることになった。ところで、子どもたちの班構成は、同じ興味や関心を持つ集まりとなっていて、インストラクターも事前にこうした子どもたちの希望を把握していて自然観察に対応するといったものであった。従って、説明をする側も、また聞く側も互いの様子がわかっているので、自然観察のスタイルとしては、より効果的であったと考えられる。

また、今回は、森の樹木の特徴を一人一人の五感を使って確認していくチェックシートを活用し、最終的にビンゴを完成するという方法をとることにした。勿論、子どもたちは、樹木の観察に終始することなく、昆虫やカエルなどの小動物、イノシシの気配が感じられる食み跡や足跡、シカのフンなどを探しながら、そして、インストラクターの方では、珍しい植物やキノコ等の補説を加えたりしながら、天然の森のコースをセントラル広場へと導くというものであった。

こどもたちの取り組みの様子であるが、この日は体験学習の 3 日目ということで、「登りはきつかった。」ということ。また、疲れのせいか、話を聞き取る集中力に欠けている子が見られたという点があげられる。しかしながら、先ずは、けが人や事故もなく無事にコースを踏破できたことは、まずは良しとしたい。観察の途中に何度かスズメバチに遭遇するという場面も見られたが、こちらも、事前に回避の仕方やその対応の仕方についての注意を促していたので、直接の被害を受けることはなかった。子どもたちは採種園休憩所の脇で昼食を済ませた後、広葉樹林を抜け林道を下った。休憩が効いたのか、すこぶる元気になっていた。最後に下の広場で「ありがとうの会」をもって活動の締めくくりをした。観察会終了後、落石への注意と各班における子どもたちの様子への対応、今後の活動の見直しについて話し合いを持った。学校への申送り事項をふくめ、次回の企画に生かしていきたいと考える。

（記　谷川　克　11期 ）

人も自然もいきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む

丹沢大山自然再生委員会ホームページでご覧ください。

http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 横浜市立釜利谷西小学校

（足柄体験学習）

日 9月11日(木)10:00～12:00、 曇り

場 足柄森林公園　丸太の森

参 小学4年生、5年生127名　教師他12名

イ L 渡部⑦、高崎④、安倍⑤、武者⑦、海野⑩、杉崎⑩、永松⑫、大原⑬、小川⑬、薗田⑬、長尾⑬、古舘⑬

今年の8月後半から9月にかけての天気は一体どうなっているのだろうか。本日も早朝は雨だったので、雨天バージョンの屋内での全体講話とその後のグループ学習を覚悟していたが、実際には本番の10時～12時にかけて雨は降らなかった。おかげで屋外の森林トレッキングによる体験学習を予定通り実施することができた。

丸太の森は自然の趣がそのまま残る森林公園で、ケヤキ、クヌギ、コナラなどの広葉樹とスギ、ヒノキなどの針葉樹がうまく調和していて森林学習には恰好な場所である。4年生・5年生の12の混成チームは、それぞれ12人のインストラクターに引率されて予め振り分けられたコースに入って行った。まず歩き始めると葉っぱが付いたどんぐりの小枝が沢山落ちていた。ハイイロチョッキリの仕業である。ドングリの実にあいた小さな産卵後の穴を見つけ虫の成長の仕組みを説明すると子供たちは目を輝かせた。途中、雪の重みで折れた木や雷が落ちて裂けたと思われる木を目にして子供たちは自然の恐ろしさも感じたことだろう。急な斜面や小さな沢にかけられた橋をいくつか渡り少しは登山の気分を楽しむこともできた。

今回の体験学習の目的の一つである「森林の役割」についてもメンバーで話し合った。

「森林は緑のダムである、森林は空気をきれいにする。」等、事前に勉強してきた跡が伺える意見が出て好感が持てた。各チームとも１時間を超えるトレキング学習の

後に、怪我もなく出発点の野外ステージに戻ってきた。我々が業務を終え家に着いた 3 時過ぎには、激しい雷雨が足柄地域を襲った。子供達との森林トレキングの最中に雨に会わなかったのは正に幸いと言うべきである。

（記　古舘　信生　13期）

◆ 横浜市立日下小学校
（林業を体験しよう＝枝打ち）

日 9月17日（水）10:00～13:30、 曇り
場 県立 21 世紀の森　風切水源林
参 小学5年生84人　教師等大人10人
財 古館様
イ L小沢⑨、井出①、宮本④、小野⑦、白畑⑦、武者⑦、村井⑨、小笠原⑩、湯浅⑪、大原⑬、小川⑬、薗田⑬

小学生たちは足柄からバスで「21世紀の森」の広場に着いた。全体にまとまりがあり、子供らは素直な感じで、好感が持たれた。

山道を上って植林地へ。現場は10年ものヒノキ林。B班の地区は下草やツルが密集し、小学生には手ごわそうだ。下草刈りをしながら、枝打ちを体験してもらう。最初は「虫がいる・・・」と引いていた女子も、次第に鋸を引く手に力が入り、「次どれやる？」と聞いてくる程熱が入った。

作業に慣れて楽しくなったころ、キイロスズメバチが男子と女子の 2 人を襲った。その2班の作業は中止。直ぐにポイズンリムーバルで毒を吸い出してから静かに下山し、救急車で搬送した。先生たちの処置が落ち着いて手早かったため、混乱は最小限だった。2班の外は予定通り作業を進めた。正午から昼食をとりながら森林の話を聞く。道具を整理し、13時半ごろバスで母校へ向かった。

（記　湯浅　鉄男　11期）

◆ 日揮株式会社
9 月 27 日の間伐研修のための準備（林内整備・選木等）

日 9 月 17 日（水）　晴れ時々曇り
場 宮ヶ瀬湖畔　日揮ネーミングライツ森林
参 自然環境保全センター　亀田課長　増田主事
日揮より佐藤恭平様（1期）
イ L伊藤⑦、高崎④、永松⑫

9月27日の間伐研修のための現地整備及び間伐の選木を行う。選木は自然環境保全センターの亀田課長と増田主事、当日のリーダー伊藤さんと話し合いながら7本選び、テープを巻いて目印をつける。現地は経路がきちんと作られていて、皆が登るのに問題はなさそうだ。

間伐現場は多少傾斜がきついところもあるが足場が確保出来るのでこちらも問題はない。現地入り口のゲート付近から経路入り口まで雑草が生い茂っていたので除草、整備する。間伐予定の木の付近に枯れた木が何本かあったので切り倒して安全を図った。

本番当日、晴天に恵まれて楽しい間伐経験が出来ることを願いながら2時半、終了する。

（記　永松　裕子　12 期）

◆ 横浜市立三保小学校
愛川体験学習　～高取山登山、自然観察～

日 9月18日（木）11:00～15:00
場 愛川ふれあいの村、高取山
参 小学5年生162名、教師他14名
イ L 西出⑫、高崎④、堀江④、佐藤⑤、小野⑦、渡部⑦、有坂⑧、松本⑧、海野⑩、松山⑩、大塚⑪、赤崎⑫、永松⑫、小川⑬、大原⑬、江頭⑬

交通渋滞のため予定より 1 時間遅れの11時に、15班で登山開始をしました。登りは、杉ヒノキの人口林や、秋の草花の観察ができました。12時40分に山頂に到着し、展望台から宮ヶ瀬湖と遠く離れた街を眺めた後、昼食タイム。

帰路は、滑りやすい斜面や細い道などの要注意箇所もありましたが、生徒たちが互いに励まし合い、疲れをこらえて頑張って歩きました。途中で体調を崩した生徒は自然観察班に入り、全員が無事に登山を終えました。

5年生の体力だと高取山登山は程よく、彼岸花・ススキ・萩・ショウマ・シモツケなど、道端に咲く秋の花などの観察ができる良いコースと感じました。

（記　大塚　晴子　11期）

◆ 三菱重工業株式会社　技能系新入社員教育
森林ボランティア間伐作業

日 9月19日（金）、 曇り
場 やどりき水源林
参 18名（新入社員13名、スタッフ5名）、
県 増田主事
イ L有坂⑧、伊藤⑦、

技能系新入社員に企業のCSR活動の一環として間伐体験を実施。午前10時過ぎに増田主事よりご挨拶と“やどりき水源林の説明”の後、簡単なストレッチを行いヘルメット、道具の装着を行い現地に向かう。

現場で、間伐の意義及び安全に実施する方法、ノコギリの使い方を説明、作業に入る。参加者全員が始めての間伐体験で、初めは恐々の手つきでノコギリを使って取り組んでいたが、慣れるにしたがってうまく切れるようになって来た。玉切り・枝払い・土留めの方法を確認した。スギ3本、ヒノキ2本を伐採して終了。初めての間伐でしたが、急斜面での作業も注意深く行われ、道具でのケガ等もなく良い体験となった様です。

（記　伊藤　恭造　7期）

◆　座間市　芹沢公園の下刈と除伐

日　9月20日（土）9:00～13:00、　曇り

場　座間市栗原　芹沢公園内

参　15人

ｽﾀｯﾌ　座間市公園緑政課　北川課長、原係長他2名

イ　L小野⑦、高橋③

座間市の主催による自然保護啓発活動として今年で14回目となる歴史ある活動である。参加者は市の公募によるもので今年は初の土曜日開催として子供さんの参加を呼びかけたが実際は1人の参加にとどまった。

作業開始前に予定場所を見回った処スズメバチが群れている場所があり、関係者と協議して場所を一部変更した。2班に分かれて作業開始したが道路沿いは柔らかい草が繁茂し林内は小潅木と笹の密生で植生は違うものの夫々少々手こずった。

少し寂しい参加人員ながらも皆さんの頑張りで定刻には概ね予定箇所の作業を終了講話は高橋さんの鳥の話と小野の鹿害関連の2話で少し目先を変えた内容とした。

閉会式では通算10回となる参加者へ感謝状と記念品を贈呈。唯一の子供参加者である4歳男児へは賞状とおみやげ（夫々飼育箱入りのクワガタとスズムシ）。

座間市の心温まる粋な計らいに出席者全員爆笑と拍手喝采でした。最後に主催者から参加者へのお礼の言葉と来年はもっと積極的にPRして子供たちの参加者を増やしたいとの言葉で閉会。ハチの被害も無く無事に終了した事が何よりでした。

（記　小野　幸広　7期）

桂川・相模川流域協議会

（ホームページ http://katurasagami.net/）

第20回シンポジウム　参加者募集

開催日時：12月7日（日）受付12:00～　開演13:00～
会場：寒川町民センター（JR寒川駅から徒歩10分）
主催：桂川・相模川流域協議会　寒川町
参加費：無料
申し込み方法：FAXまたは電子メールで11月20日までに下記を明記
申し込み代表氏名：　、参加人数：大人　名、子供　名
申し込み代表住所：
申し込み代表者：連絡先：
申し込み先：神奈川県　環境農政局・水・緑部水源環境保全課（神奈川県事務局）
FAX　045（210）8855
電子メール　takase.uc5@pref.kanagawa.jp
問い合わせ先　TEL　045（210）4358

投稿概略フォーマットと略語の説明

◆　活動団体・活動名　等

日　日付（できれば時間と天気も）

場　場所

参　参加者

県　（神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課）

財　（（公財）かながわトラストみどり財団）、看　看護師

ｽﾀｯﾌ　例　小田原市森林組合ＸＸ様
　　例　川崎市公園緑地協会・ＸＸ様

イ：インストラクター（○数字：期）　研：研修枠

（以下本文を概ね400字前後を目安として執筆ください）

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は１２月号です。

森のめぐみ シリーズ

やどりき水源林ミニガイド

10月のトピックス

今年も無事咲き始めました“十月桜”
（寄大橋入口）

（10/25　撮影　松本）

11月の水源林

山々が黄色や赤に綺麗に色づいています。黄金色の森にいらっしゃい！！

「森の案内人」情報

●実施時間:毎週土曜・日曜・AM10 時・PM1 時，1～2 時間程度
●集　合:水源林入口ゲート前
●内　容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
＊10 人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
●問合せ:(公財)かながわトラスト みどり財団 TEL：045－412-2255
FAX：045－412-2300
● ホームページ: http://www.ktm.or.jp
● E-mal:　midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 ＆ ご案内

日程：11 月 8 日（土）11:30～15:30
11 月 9 日（日）　9:00～15:00
会場：小田原アリーナ（小田原市中曽根 263）入場無料
主催：第 30 回全国削ろう会小田原大会実行委員会
削ろう会とは、木造建築・木工技術の維持、発展を図り、日本の大工道具(手道具)の製造技術と取扱い技術の向上を目指して、競い、楽しみながら修練し、建築・木工芸文化を次世代へ伝承することを目的とする団体です。
問い合わせ:080-9387-7683　kezuroukaiodawara@gmail.com

森のなかまは HP で過去号もご覧になれます。
http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01
(HP 担当 ： 井出恒夫)

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。

＜広報全般についてのお問い合わせ＞
松本　保
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp
Tel：090－7962－3168

＜電子配信担当＞　赤崎　さほり
〒221-0865
横浜市神奈川区片倉 2-1-50
Tel：090-6150－6173
Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

＜メール・手書き原稿送り先＞
【本誌】松本　保
〒246-0037
横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先：090－7962－3168
Mail：matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口　俊則
〒250－0871
小田原市下堀 123
Tel/Fax：0465－42－7240
Mail：minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CC で】竹島　明
〒238－0045
横須賀市東逸見町 3-7
Tel/Fax：046－825－9281
Mail：2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp
原稿は随時受け付けています。

編集後記

★紅葉がキレイになりましたね。秋は木の実拾いの季節！毎日ビニール袋は欠かせません。ドングリ・メタセコイア・ヤシャブシ…、家で下処理がまた大変です。　（大塚）
★今年も残すところあと2ヶ月となりました。一度くらいゆっくり山登りに行けたらいいなー　（赤崎）
★朝に真っ白な花びら・・・・がだんだんに薄桃色に変わり、夕方にはほろ酔い加減の桃色になっていたんです。これぞ「酔芙蓉」となずけられた所以なんですね。　（小川）
★この秋は読書？　食べ物巡り？　楽しみが一杯ですね。　（水口）
★四方(よも)に聳(そび)ゆる山々は御嶽　乗鞍　駒ヶ岳　浅間　は殊(こと)に活火山　・・・　この歌が出来た時には御嶽は活火山ではなかったのに。やどりきの山にも富士山の火山灰を見ることができます。　（松本）

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。
振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。
(頒　価　200円　送料共)

編集人：　松本　保
事務局：　竹島　明
広報部：　小沢章男　水口俊則
鈴木　朗　徳岡達郎　大塚晴子
加藤暖子　赤崎さほり　小川和恵
小池　哉
支援
伊藤恭造　川森健司

松田きらきらフェスタ(イルミネーション)11 月下旬～12 月下旬、西平畑公園

恒例の松田きらきらフェスタがいよいよスタートします。会場までの沿道にもLEDが飾りつけられています。日が沈んだ後、約 18 万球のイルミネーションに彩られ、光と闇の夢幻空間が広がります。
http://www.seibu-la.co.jp/matsudayama-hg/
0465-85-1177(松田山ハーブガーデン)

散策、ボランティア活動のお帰りにお越しください！！
～ お 食 事 処 ～
(もちろん飲み物も！！)

こ　ま　ち

山 麓 の オ ア シ ス　㉞

小田急　新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店